

箕田地域計画



※市役所展望室から箕田地区と伊勢湾を望む

2020年4月

和の街箕田地域づくり協議会

はじめに

地域づくりについての想い

地域づくりとは、「この地域に住んで本当に良かった、これからもずっと住んでいたい、そう思える地域をそこに住む人が力を合わせてつくること」です。2018年に箕田地区の皆様アンケートを取らせていただきました質問の中で、「箕田地区に住んで良かったと感じていますか？」の結果は、「感じている」が55%、「少し感じている」が33%で合わせて88%でした。鈴鹿市の2015年の調査では、「鈴鹿市に住み続けたいと思う市民の割合」は87.5%で箕田地区の結果とほぼ一緒でした。鈴鹿市では2023年度にはこの割合を90%にする目標で、鈴鹿市総合計画2023（にいまるにいさん）の重要施策として取り上げています。

地域づくりの背景には、「地域コミュニティの希薄化による自治の仕組みの弱体化」です。今後、鈴鹿市の人口の推移予測は、現在20万人弱ですが、2060年には12万弱に落ち込むと予測されています。箕田地区においても例外ではなく、住民人口の減少は今でも顕著に現れているのが感じ取れます。近い将来は超高齢者社会となり、様々な地域の課題が増加していきます。将来を見据えて今から住みよい地域づくりのための活動を始めなければならない時ではないでしょうか。これには、国レベル、県レベル、市レベルの計画が不可欠ですが、地域において行政との協働で地域レベルの将来に向けた計画が是非とも必要になってきます。

和の街箕田地域づくり協議会は立ち上げたばかりで、赤ん坊の「はいはい」の状態これから立派な大人に成長をさせなければなりません。幸い箕田地区においては今まで培ってきた既存の団体の個々の活動は活性化をしており、今後は各団体の連携を強化し、地域活性に向けた活動をしていく強固な組織として住民参加型の「地域づくり協議会」としていきます。

このたび、既存の団体との十分な意見交換を行い、地域づくりの指針となる2023年までの「箕田地区地域計画」を作成しましたので、ご支援・ご協力をお願いし「地域づくりの思い」とさせていただきます。

和の街箕田地域づくり協議会

会長 一尾 隆志

地域計画について

(1) 地域計画とは

「地域計画」とは、住みよい地域をつかっていくために、箕田地区に住むみんなが自ら立てる計画です。

住んでいる地域の状況（地理的な特性、自然・歴史・文化・人材などの地域資源、地域の課題）を把握し、整理しながら、箕田地区に住むみんなが「住みよい地域」とは何かを考え、意見交換を行い、自らが取り組む課題の解決方法や地域を元気にする方法などをまとめた、地域づくりの指針です。

(2) 計画期間はいつまで

この計画の期間は、2020年度から2023年度の4年間です。この4年間は、鈴鹿市総合計画 2023 の後期基本計画期間に当たります。

(3) 計画の策定は

この計画は、平成30年6・7月に実施した住民アンケート、令和元年8月に実施した地域活動団体へのアンケート、地域カルテなどをもとに、「和の街箕田地域づくり協議会」の委員・役員・事務局員と地域づくり支援職員（地元の市職員）・コーディネーター（地区市民センター所長）が中心となり、令和元年9月から協議し、役員会で原案を練り上げ、令和2年3月に「和の街箕田地域づくり協議会」で策定し、このたび、箕田地区にお住いのみなさまに配布させていただくことになりました。



1 地域づくりの基本目標

《キャッチフレーズ》

誰もが愛着を持ち、住んでよかった。
誰もが愛着を持ち、住んでいたい。
そう思える、輝くまち「和の街箕田」

《部会の目標》

◇安全安心部の目標◇

みんなが安心して暮らせるまち

◇福祉部の目標◇

のびのびと子育てし、高齢者がいきいき過ごすまち

◇青少年育成部の目標◇

青少年が健やかに育つまち

◇文化スポーツ部の目標◇

地域住民が文化的に健康で明るい社会生活を営むまち

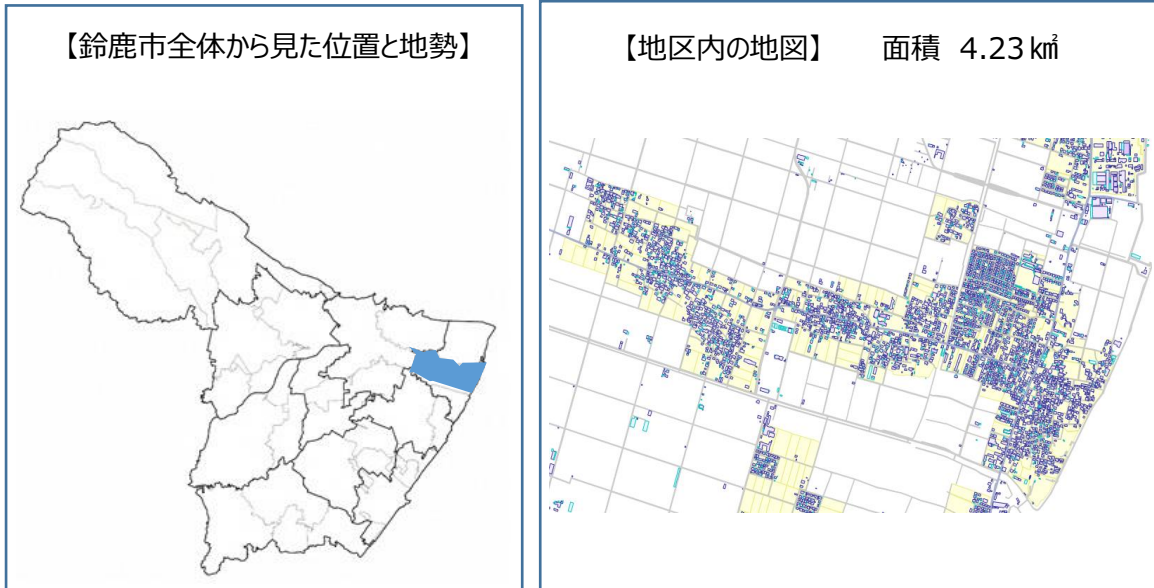
◇地域振興部の目標◇

農林水産業が活気にあふれるまち

・・・めざします！

2 箕田地区の姿（地域カルテやアンケートから抜粋）

（1）地区のなりたちと人口

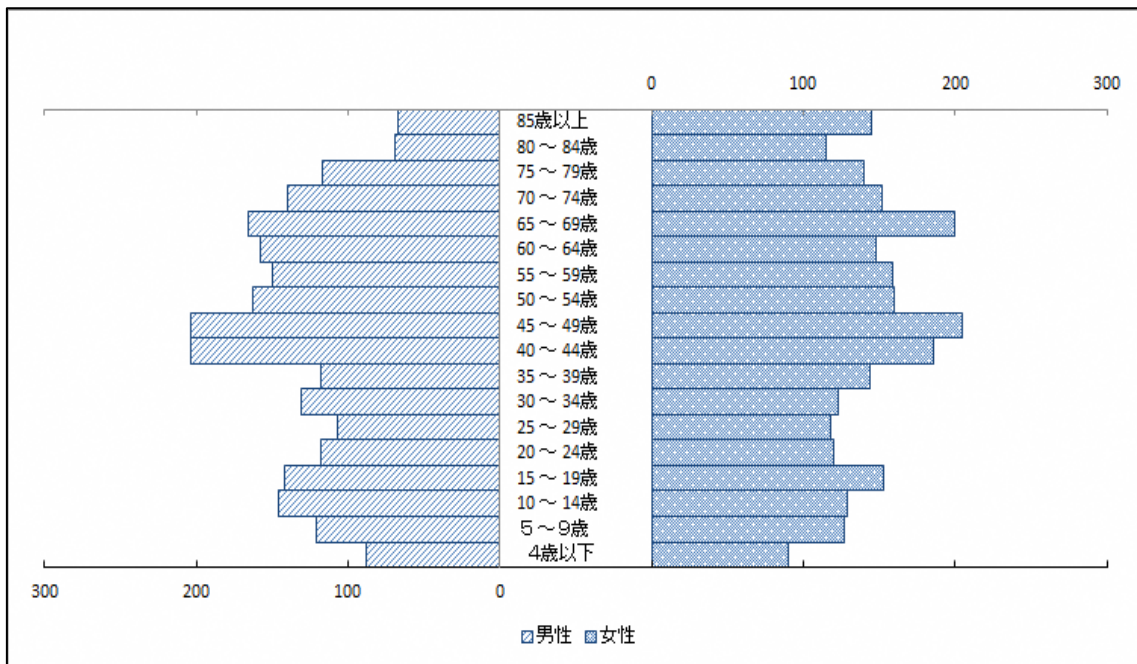


1 人口

◇人 □ 4,881人（男性 2,352人 女性 2,529人）
 ◇世帯数 1,974世帯

令和元年9月末 住民基本台帳

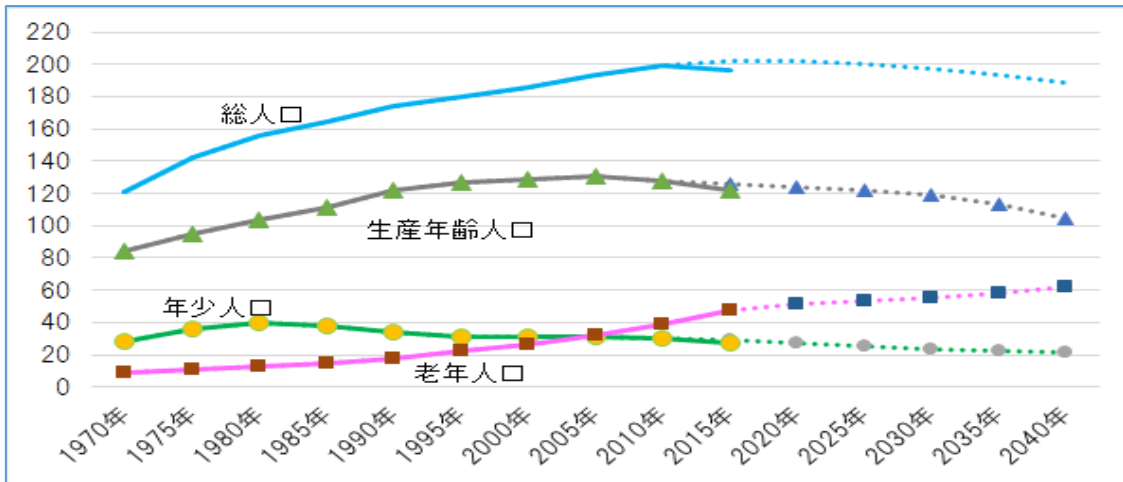
年代別分布図



2 人口推計

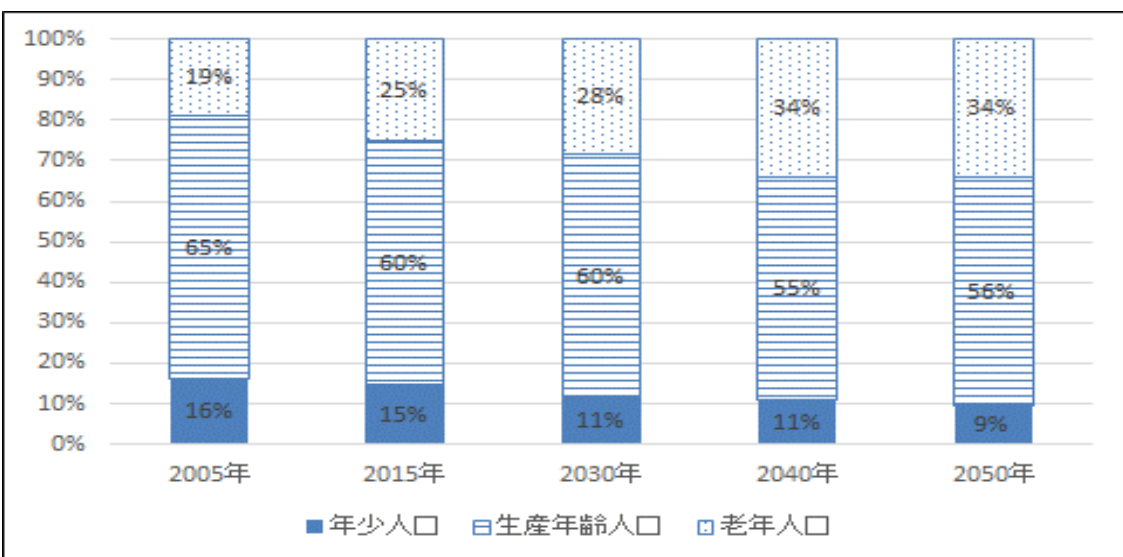
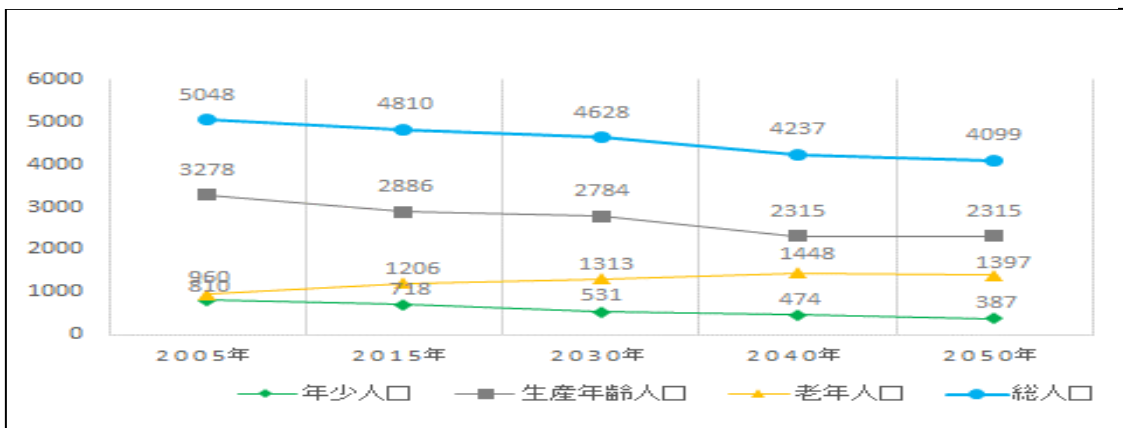
○市全体

※2015年までは国勢調査結果による



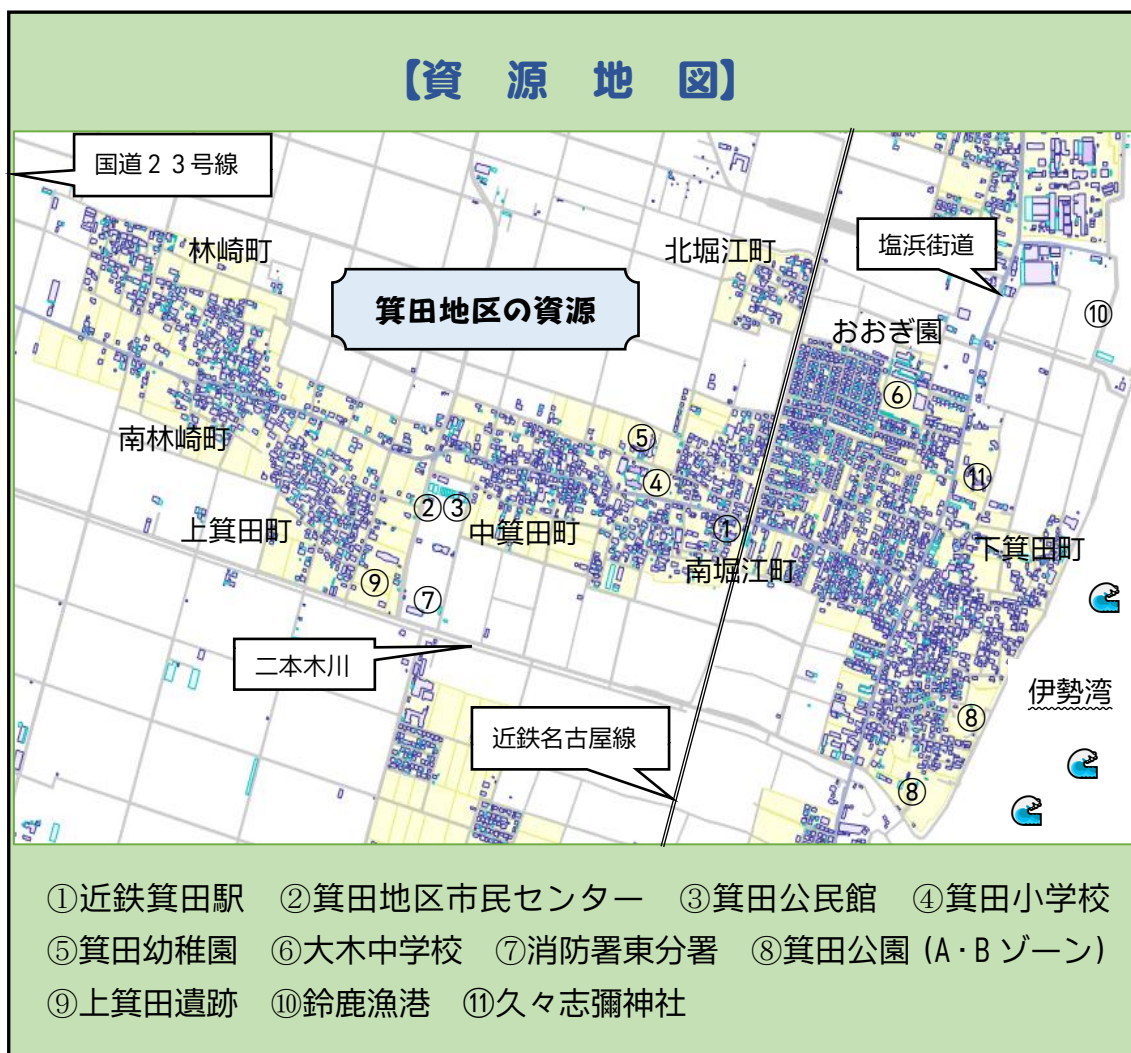
○箕田地区

※2015年までは国勢調査結果による



【年少人口：15歳未満 生産年齢人口：15歳以上65歳未満 老年人口：65歳以上】

(2) 地域の主な資源



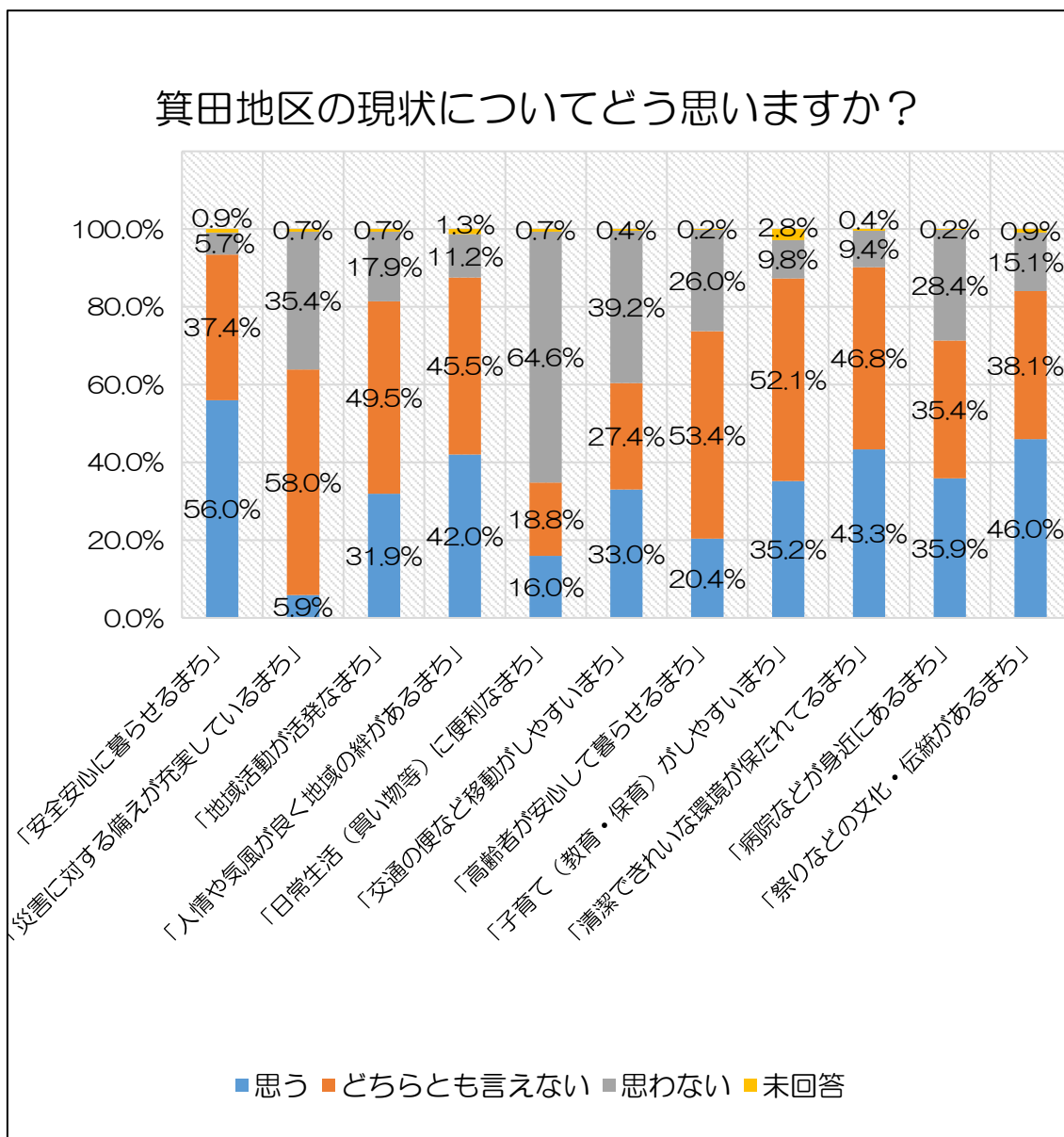
◎東部は、伊勢湾に面し、海岸からは大型船、その向こうに中部国際空港（セントレア）とそこから離発着する飛行機が見られ、元旦には初日の出を拝むため多くの人を訪れるビュースポットです。

◎中部は、近鉄名古屋線が縦断し、観光特急「しまかぜ」・新型特急「ひのとり」・伊勢志摩ライナー・ビスタカーなどの様々な特急電車が走り、箕田駅から、四日市へ約15分、津へ約25分、名古屋・伊勢へ約1時間、大阪・京都へは約2時間、東京へは約3時間で行くことができ、通勤・通学、旅行などにもとても便利なまちです。

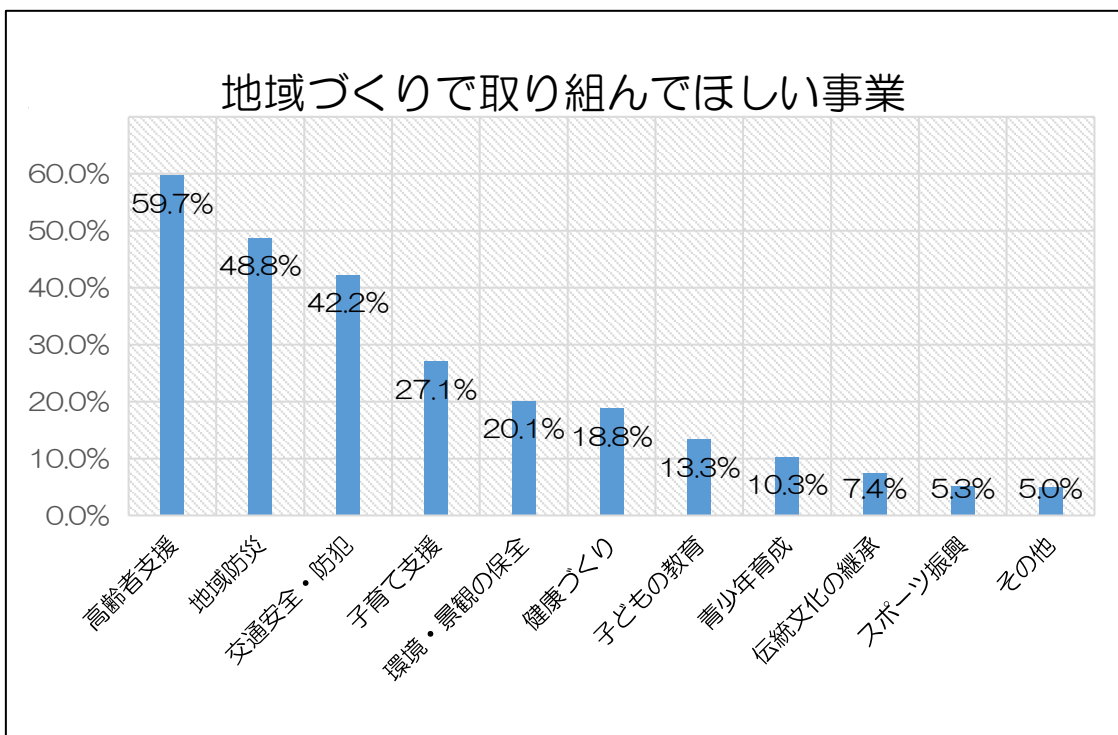
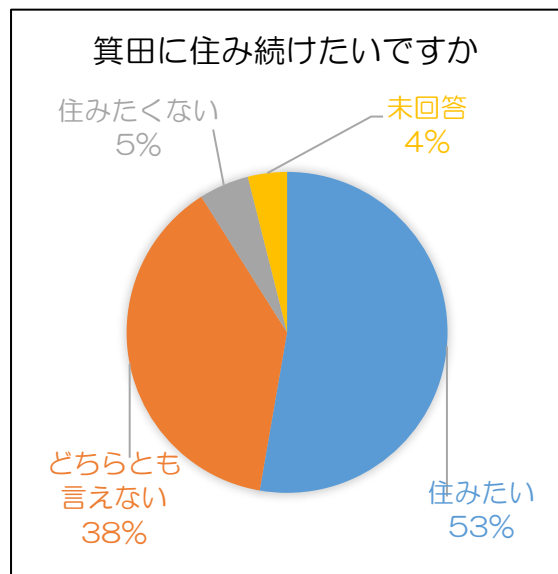
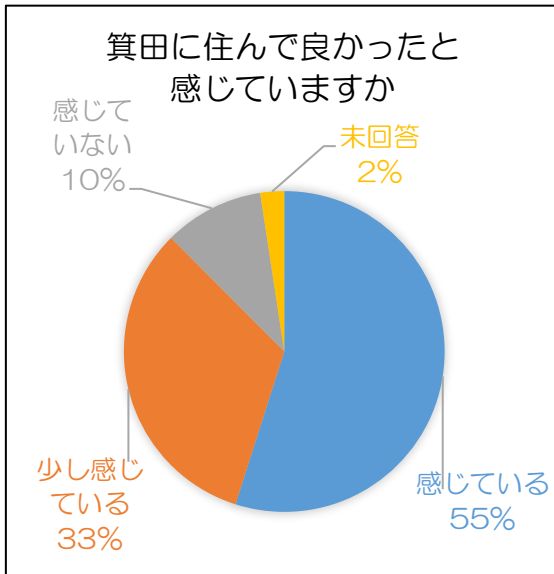
◎西部は、田園風景が広がり、国道23号線が縦断し、11月には全日本大学駅伝が行われ、第4中継所にもなっています。また、弥生時代の集落跡「上箕田遺跡」があり古代の風が感じられるまちです。

(3) 住民の意識（住民アンケート〈平成30年実施〉から）

住民アンケートは、平成30年6・7月に実施し、457人（1,675世帯に発送）の方からご回答いただきました。



その他の意見として、住みやすいまちという意見がある一方、買い物が不便、交通の便が悪い、車に乗れなくなったら買い物・通院などが心配という意見のほか、地震・津波等に対する防災対策の充実、避難場所の確保、バスの運行など交通手段の確保、買い物ができる店がほしいなどの要望がありました。



《アンケートから見た考察》

箕田地区は、安全安心で環境もよく人情や地域の絆のあるまちで、回答者の過半数の方が、箕田に住んで良かったと思っている反面、買い物などの日常生活や交通が不便で災害に対する備えが不備であると思っています。協議会では、高齢者支援、地域防災、子育て支援に重点を置いた事業に取り組み、誰もが住みやすく、これからも住み続けたいと思えるような愛着の持てる「和の街」にしていきたいと思えます。

(4) 地域の宝物と課題 《団体レポート〈令和元年8月実施〉から》

わがまちの宝物

- ◇ 地域の行事（虫送り・運動会・盆踊り・ジョギング大会）
- ◇ 伝統ある箕田流獅子舞い
- ◇ 箕田音頭
- ◇ 未来を担う子供達とその笑顔
- ◇ おじいちゃん・おばあちゃんの孫育成力
- ◇ 近所づきあいが良い、話し合いができる住民
- ◇ 優良な農地・先進的な農業用水施設

わがまちの課題

- ◆全体の課題（住民アンケートから）◆
 - ・ 買い物や通院などの日常生活が不便
 - ・ 交通が不便
 - ・ 災害に対する備えが不備
- ◆安全安心部の課題◆
 - ・ 高齢化による役員不足
 - ・ 自主防災設備の改善（誰でも操作できる設備の設置）
- ◆福祉部の課題◆
 - ・ 高齢化による役員不足、役員負担の増加
 - ・ 活動内容の多様化、参加者の減少
- ◆青少年育成部の課題◆
 - ・ 行事参加者が減少傾向
 - ・ 学童保育所は、資格のある人が必要で人材確保が難しい
- ◆文化スポーツ部の課題◆
 - ・ 行事参加者が減少傾向、高齢化による会員の減少
 - ・ 公民館利用率の低下
- ◆地域振興部の課題◆
 - ・ 優良農地の保全と有効活用
 - ・ 農業後継者の育成と認定農業者の増員
 - ・ 農地の利用集積の促進と集約化

(5) 分野別方針と主な取組み

★みんなが便利で住みやすいまちを目指します	
分 野	全専門部・事務局
事業名	便利で住みやすいまちにする活動
内 容	交通、買い物、通院などの不便さを解消するため、住民参加型在宅福祉サービスなどを検討する
住 民 の 取 組 要 望	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者支援への取組み 59.7% ・交通、買い物、通院の不便さの解消

★みんなが安心して暮らせるまちを目指します	
分 野	安全安心部
事業名	地域の安全安心のための活動
内 容	住民一人ひとりの交通安全・防犯・防災意識を高めるため、防災訓練・交通安全教室・通学時の見守り等事業の充実を図る
現 状 の 取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練 ・災害時見回り ・年末夜警 ・交通安全街頭指導
住 民 の 取 組 要 望	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災への取組み 48.8% ・交通安全、防犯への取組み 42.2%

★のびのびと子育てし、高齢者がいきいき過ごすまちを目指します	
分野	福祉部
事業名	子育て支援、高齢者支援などの福祉面における活動
内容	高齢者支援、子育て支援を行うため、高齢者の見守り、乳幼児教室の充実を図り、高齢者サロン、子育てサロンを開始する
現状の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 一人暮らし高齢者の見守り、昼食会、集い あいさつ運動 ・乳幼児教室「みだっこ」
住民の取組要望	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者支援への取り組み 59.7% 子育て支援への取り組み 27.1%

★青少年が健やかに育つまちを目指します	
分野	青少年育成部
事業名	青少年の安全安心・健全育成を目指す活動
内容	児童・生徒の安全安心をサポートするため、児童・生徒が参加しやすい事業を実施し、地域住民とのふれあいの場を作る
現状の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 盆踊り ・ジョギング&ウオーク大会 児童生徒の見守り ・学習支援 ・バザー
住民の取組要望	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成への取り組み 10.3% 子どもの教育への取り組み 13.3%

★地域住民が文化的に健康で明るい社会生活を営むまちを目指します	
分野	文化スポーツ部
事業名	地域住民が文化的に健康で明るい社会生活を営むための活動
内容	文化・スポーツを通じて住民同士の交流促進を図るため、目新しいスポーツ事業を開催し、文化祭を発展させ、住民が地域づくりに参加するきっかけをつくる
現状の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・町民大運動会 ・いきいきスポーツデー ・箕田地区文化祭 ・箕田流獅子舞
住民の取組要望	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ振興への取り組み 5.3% ・伝統文化継承への取り組み 7.4%

★農林水産業が活気にあふれるまちを目指します	
分野	地域振興部
事業名	地域の農林水産業の振興
内容	農林水産業の振興を図るため、他部会と協働し振興事業を行う
現状の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地対策 ・農業用水施設の維持管理 ・農業振興 ・農地利用の利用促進
住民の取組要望	<ul style="list-style-type: none"> ・環境景観保全への取り組み 20.1% ・耕作放棄地利用促進、農業振興